

ひと

カナ 夢を織る女 K' na The Dreamweaver

2014年 フィリピン カラー 85分 日本語・英語字幕付き

監督：イーダ・アニータ・キト・デル・ムンド

脚本：イーダ・アニータ・キト・デル・ムンド

撮影：Lee Meily

音楽：Diwa De Leon

出演：マラ・ロペス・ヨコハマ

RK バガチン

ティボリ族のカナは、幼くして母を喪い、夢織者の祖母に育てられ、自分も夢織者となってゆく。幼なじみで思いを寄せあうシラウがいるが、湖の北の部族との長年の抗争に終止符を打つため、族長の父から、北の族長の息子カディスとの結婚を段取りされる。村の平和のために、涙をこらえ、従うことになる。

美しい映像と音楽で綴られた、若い二人の素朴な悲恋の物語である。湖の北と南の部族の対立は、かつて夢織者であった娘が、北の部族の5番目の妻とされることを嫌って恋人と駆け落ちし、それに怒った北の族長が南の一族を襲ったことに始まる。もし、カナがシラウとの愛を貫いたら…。単純でストレートな悲恋の背後に、歴史が循環する様が描かれる。

ティボリ (Tboli) は、フィリピン・ミンダナオ島の南西部にある南コタバト州・セブ湖周辺に住む民族で、人口は10万人余り。豊かな伝統文化を代々受け継いでいることで知られ、特に色彩豊かな織物は有名。フィリピンの多数派である平地キリスト教民 (約90%) や、ミンダナオ島南部からスールー諸島に暮らすイスラーム教徒 (約5%) と異なり、先住民 (約5%) と呼ばれる80ほどのグループのひとつである。精霊信仰にもとづき、山間部で焼畑農業などをして暮らしていた。セブ湖の一帯は近年、大規模な観光開発が進み大きく変わりつつある。本作は、ティボリの伝統文化へ捧げられ、会話はすべてティボリ語でなされている。プロの俳優6人を除けば、出演は村人たち。2014年のシネマラヤ映画祭で最優秀美術賞と審査員特別賞を受賞。

(参照：あいち国際女性映画祭 2015 カタログ)